

表. 久万高原ミュージアムカフェ・トーク（平成25年～29年）

年度	開催日	場所	タイトル	話し手	所属等
H25	H26.1.25	ブティックリフ	月のはなしアレコレ 月を愛でる文化	中村彰正 神内有理	久万高原天体観測館（学芸員） 町立久万美術館（学芸員）
	H26.2.15	ブティックリフ	博物学ってなに？～江戸の図鑑、植物図譜の世界～ 博物学ってなに？～生物を集めて分けてわかること～	神内有理 矢野真志	町立久万美術館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
	H26.3.8	ブティックリフ	温故知新 天体ショーを振り返る 石鏡の自然と両生類	藤田康英 岡山健仁	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
H26	H26.12.6	道の駅天空の郷さんさん	超新星と明月記～古文書に記された星たち～ かくれ里と山椒魚～久万高原の孤独な森の住人～	藤田康英 岡山健仁	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
	H27.1.17	町立久万美術館	星座のなりたち～東西文化融合のたまもの～ 千手観音のはなし～仏像に近づいてみよう～	中村彰正 神野祐太	久万高原天体観測館（学芸員） 町立久万美術館（学芸員）
	H27.2.14	道の駅天空の郷さんさん	小松正史コンサート～スターアンビエンス～	小松正史	京都精華大学（教授）
	H27.3.14	道の駅天空の郷さんさん	ダイヤの窓から見える地球や惑星の深部 虫をくう話～愛媛の昆虫食について～	平井寿子 矢野真志	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター（特命教授） 面河山岳博物館（学芸員）
H27	H27.12.12	道の駅天空の郷さんさん	じつと手のホネを見る～ホネを比べて分かること～ 遺跡で見つかるホネの話～上黒岩を中心に～	矢野真志 遠部 慎	面河山岳博物館（学芸員） 上黒岩考古館（学芸員）
	H28.1.16	道の駅天空の郷さんさん	生活の中の陶磁器デザインと初春の調べ	工藤省治 大野千佳	陶磁器研究工房「春秋窯」（陶芸家） コピーライター
	H28.2.13	蔵お茂ご	星の名付け親になる～小惑星の発見と命名～ 石鏡山の高山性植物～10年間の山行で出会った花たち～	中村彰正 岡山健仁	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
	H28.3.12	町立久万美術館	見ちゃいました！ブラックホール？ アートと科学～遠近法という接点	藤田康英 神内有理	久万高原天体観測館（学芸員） 町立久万美術館（学芸員）
H28	H28.12.10	まちなか交流館	ビーナスの素顔～ユニークな惑星、金星の正体に迫る！ ビーナスの素顔～石偶から土偶へ～	中村彰正 遠部 慎	久万高原天体観測館（学芸員） 上黒岩考古館（学芸員）
	H29.1.14	まちなか交流館	あぶない天体？ブラックホールのABC～入門編～ 身近なあぶない生き物	藤田康英 矢野真志	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
	H29.2.12	道の駅天空の郷さんさん	食卓の植物～オリジナル七味を作って久万高原野菜のおでんを食べよう！～	松井宏光	愛媛植物研究会（会長）
	H29.3.11	町立久万美術館	久万美30年 しっとく！なっとく！石鏡山系自然学入門	高木貞重 岡山健仁	町立久万美術館（館長） 面河山岳博物館（学芸員）
H29	H29.12.9	まちなか交流館	アートを見る目～具体美術協会にまつわる色んな目～ 星を見る目～目を知ると見えてくる星の世界～	中島小巻 中村彰正	町立久万美術館（学芸員） 久万高原天体観測館（学芸員）
	H30.1.13	道の駅天空の郷さんさん	宙（そら）の上に蛇が歩いています！～冬の宙に白い龍をさがせ！～ 山の上に魚が歩いています！～ドジ？のろまな？山椒魚の話～	藤田康英 岡山健仁	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）
	H30.2.17	道の駅天空の郷さんさん	巨大昆虫・微小昆虫～実は大きくなれない昆虫たち～ 遺跡で見つかる大きい世界・小さい世界	矢野真志 遠部 慎	面河山岳博物館（学芸員） 上黒岩考古館（学芸員）
	H30.3.17	町立久万美術館	子規俳句にみる自然と美術	石丸耕一	坂の上の雲ミュージアム（学芸員）
				中村彰正 矢野真志	久万高原天体観測館（学芸員） 面河山岳博物館（学芸員）

[案内チラシ]

ミュージアム・カフェ in 久万高原

久万高原町には天体観測館、久万美術館、面河山自然博物館という3つの文化施設があります。それぞれに専門分野をもちたスペシャリスト(学芸員)が常駐し、利用者のみなさんに文化と科学の面からの地域の価値を創造し、紹介しています。
今個企画したミュージアム・カフェでは、そんな学芸員たちが専門の世界を分かりやすく、そして面白くお話しします。
異分野の学芸員2名が、毎回どんなテーマを煮るのか?、
面白いテーマとテーマをいっしょにできたら、くつろいで気分をお楽しみください。



山田健仁
面河山自然博物館「かくれ里と山椒魚」の学芸員



荒井修志
久万美術館「山椒魚」の学芸員

「山椒魚」を語ります。
薄身の力で「山椒魚」を語ります。
「山椒魚」を語ります。
「山椒魚」を語ります。

●日時と場所
①2014年12月6日(土)15:00~16:20
道の駅「天竺の湯さんさん」レストランにて (久万高原町入野1855番地、0892-21-3400)
話し手/山田健仁(面河山自然博物館)・荒井修志(久万美術館)・面河山自然博物館「かくれ里と山椒魚」久万高原の隠れた名所の達人~
②2015年1月17日(土)15:00~16:20
町立久万美術館ロビーにて (久万高原町菅生2-1442-7、0892-21-2881)
話し手/中村智生(久万高原天体観測館)・菅生のなつめから~東西文化融合のたまご~
神野祐太(面河山自然博物館)「手書きの絵はなし」私蔵の絵をみながら~
●募集定員:20名(小学生以上) ●参加費:1,000円(ケーキ、ドリンク付)
●申込方法:下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
【申込・問合せ先】久万美術館(電話/0892-21-2881, FAX/0892-21-1954)

3回目、4回目を2015年2月と3月に実施予定です。お楽しみに!
※開催場所、内容は未定。詳しくはお問い合わせください。

ミュージアム・カフェ in 久万高原

久万高原町には天体観測館、町立久万美術館、面河山自然博物館、上野古史跡という4つの文化施設があります。それぞれに専門分野をもちたスペシャリスト(学芸員)が常駐し、美術、歴史、天文、自然史の面からの地域の価値を創造し、利用者のみなさんに紹介しています。
ミュージアム・カフェでは、そんな学芸員たちが専門の世界を分かりやすく、そして面白くお話しします。いったい、どんなテーマを煮るのか?お楽しみに!



高木貞重
町立久万美術館がオープンして、来年30周年。
小さな町の、小さな美術館。それはどのようにして誕生したのか。この30年間、どんな活動をしてきたのか。将来を見据えながら振り返ります。



山田健仁
面河山自然博物館

カラヘビは毒がある?イモリの黒焼きは毒(毒)れ薬になるの?マムシの子供は母親の口から生まれてくるの?石籠山の森には14億円が眠っているの?石籠山の自然について親しんでいただけるような話題を紹介します。

「カラヘビ」を語ります。
「カラヘビ」を語ります。
「カラヘビ」を語ります。
「カラヘビ」を語ります。

●日時: 2017年3月11日(土)15:00~16:20
●場 所: 町立久万美術館 (久万高原町菅生2-1442-7、0892-21-2881)
話し手/高木貞重(町立久万美術館)・久万高原30年
山田健仁(面河山自然博物館)「レットク!なっとク!石籠山自然学入門」
●募集定員: 30名(小学生以上)
●参加費: 500円(ドリンク付) ※三輪バスポートを持参の方は200円引き
●申込方法: 下記まで、氏名・住所・連絡先をお知らせください。
【申込・問合せ先】町立久万美術館 (電話/0892-21-2881, FAX/0892-21-1954)

ミュージアムカフェin久万高原 食卓の植物

~オリジナル七味をつくって
久万高原野菜のおでんをたべよう!!~

で味の材料にはお万高原産のトウガラシ、サンショウ、シイタケ粉などを使います。おでんにようす~



なつとりじのいもには
産物とさまでようかも。

面河の手作りこんにゃくは
香たえがふんふんりん!
久万産品の七味は
4がしよ7トコロ~

野菜・根菜・果味・香辛料・ハーブなどなど。私たちの食卓では毎日たくさんの植物が利用されています。植物のない食生活なんて考えられませぬ!
今回のミュージアムカフェでは、久万高原産材のおでんを食べながら、『食卓の植物』たちについて、分類や歴史などを分かりやすくお話しします!
また、自分でトウガラシや陳皮(干したミカンの皮)、ゴマなどを調べて、おでんに合うおなただけのオリジナル七味を作ります。お楽しみに!

2017年2月12日(日)15:00~16:30
道の駅さんさんレストラン (久万高原町入野1855-6 0892-21-3400)
講師: 松井宏光さん(愛媛植物研究会会長、NPO森からつづく代表)
参加費: 1000円(三輪バスポート持参の場合は800円)
定員: 36名(小学生以上) ※おでん3品、フリードリンク付。作った七味を持ち帰れます。
申込先: 町立久万美術館(氏名・住所・連絡先をお知らせください。)
電話/0892-21-2881, FAX/0892-21-1954

ミュージアムカフェin久万高原 子規俳句にみる 自然と美術

子規の俳句には、季節を中心として様々な生き物や天文現象が登場します。自然の中には無限の素材がふれ、子規はその中にある美を俳句という文字に昇華させました。一方で、子規は古くから人々を作り上げてきた、文字や芸術の中にある美の要素を俳句に取り入れることも大切にしています。
今回のミュージアムカフェでは、面河山自然博物館の学芸員から石丸耕一学芸員をお招きし、久万高原町文化施設の自然史や、芸術学芸員と子規俳句を通してセッションします。自然科学と人文科学がどのように融合するの?ぜひ見聞してください。



山田健仁
面河山自然博物館



石丸 耕一さん
(面河山自然博物館)

子規が身の回りの自然や美術を詠んだ俳句を鑑賞しながら、子規の生誕150年を記念する時にぜひお話しします。

2018年3月17日(土)15:00~16:30
町立久万美術館ロビー (久万高原町菅生2-1442-7 ※県道12号沿い)
話し手: 石丸 耕一さん(坂の上の雲ミュージアム) & 久万高原町文化施設の学芸員
参加費: 500円(三輪バスポート持参の場合は300円) 定員: 30名(ドリンク付、小学生以上)
申込先: 町立久万美術館(氏名・住所・連絡先をお知らせください。)
電話/0892-21-2881, FAX/0892-21-1954